

新下米田保育園の運営及び建設等に関する説明会【議事録】

1 開催日時

令和6年7月21日（日）10：00～10：50・保護者説明会

令和6年7月21日（日）13：00～14：00・地元住民説明会

令和6年7月23日（火）19：00～20：00・地元住民説明会

2 開催場所

下米田交流センター 1階会議室

3 参加者人数

令和6年7月21日 保護者説明会：16名

令和6年7月21日 地元住民説明会：9名

令和6年7月23日 地元住民説明会：11名

4 次第

(1) 開会

(2) 出席者紹介

こども未来課：4名、下米田保育園：2名（7月23日は1名）

学校法人則竹学園：5名（7月21日及び23日地元住民説明会は、4名）

(3) こども未来課長あいさつ

(4) 新下米田保育園の運営及び建設等についての説明

(5) 質疑応答

(6) 閉会

配付資料

・（仮称）下米田たからこども園説明会資料（学校法人則竹学園）

・ Q & A

5 会議経過

説明会の進行は、こども未来課が行った。

次第 (3) こども未来課長あいさつ

保護者・地域の皆様には、日頃から、下米田保育園の運営に格別のご理解・

ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、本日は、休日（夜間）の何かとお忙しいなか、説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

さて、下米田保育園は、現園舎が昭和 47 年に建設され、建設から 52 年ほどが経過しております。

そこで、市では下米田保育園をはじめ、公立保育園の老朽化に対応するため、平成 29 年 4 月に「美濃加茂市公立保育園施設整備計画」を策定し、公立保育園の整備に関する基本的な考え方と統廃合による建替え、民間活力の導入などの基準や条件を定めました。

現在、この計画に従いまして、公立保育園の統廃合や民営化を順次進めているところでございます。

そのうち、下米田保育園につきましては、昨年 6 月に下米田保育園の民営化に関し、公募型プロポーザル方式による事業者の公募を行い、市内太田町において認定こども園だから幼稚園を運営しておられる、学校法人則竹学園を最優先候補者として決定し、以後、条例の一部改正、土地の無償貸付などの必要な手続きを進めてまいりました。

公立保育園としての下米田保育園は、令和 8 年 3 月に閉園し、同敷地内に学校法人則竹学園が、新たに認定こども園を整備し、令和 8 年 4 月に開園する予定となっております。

今般、その運営方針や園舎等の整備計画の概要が定まりましたので、本日、説明会を開催させていただくものでございます。

お配りしました次第に従い、まず、学校法人則竹学園から、新下米田保育園の運営及び建設等に関して説明を差し上げ、その後、皆様からのご質問・ご意見などにお応えさせていただきたく存じます。

それでは、本日はどうぞよろしく願いいたします。

次第（４）新下米田保育園の運営及び建設等についての説明

学校法人則竹学園 理事長あいさつ

本日は説明会にお集まりいただき、ありがとうございます。

公立下米田保育園の民営化にあたり、候補者として、ご指名をいただきました。たから幼稚園も太田町の地で創立 53 年を迎え、地元の皆様のご理解、応援を頂きながら、ひとりひとりを大切にする保育をしてまいりました。

今回、下米田保育園の民営化に立候補させていただきましたのは、「美濃加茂市下米田町の緑多き自然豊かな土地で子どもたちに寄り添い、のびのびとした保育をしたい」という思いからです。

立候補にあたり、下米田のまちづくり協議会の方々の思いもお聞きしました。地域のご理解、ご協力をいただきながら、共に子どもたちを育てることができ環境にわくわくしております。

令和 8 年の開園を前に、新園舎の建築があり、その間はいつもとは違う

環境になってしまいます。在園児さん、保護者の方々、地域の皆様にご迷惑をお掛けすることがあることを申し訳なく思っております。

ご理解をいただきながら、安心、安全に工事を進めてまいります。このあと、詳しい説明をさせていただきます。

現時点での決定事項となりますが、皆様のご質問、ご意見をお聞かせください。何卒よろしくお願い申し上げます。

学校法人則竹学園 認定こども園だから幼稚園長説明

まず初めに、「事業概要」からご説明いたします。資料の5ページをお開きください。①「施設類型」についてです。

「幼保連携型認定こども園」を予定しています。これは、教育と保育を一体化した施設で、今日お越しいただいている2号認定のご家庭と3号認定のお子さんを預けておられるご家庭に加え、1号認定のお子さんも新たに受け入れさせていただきます。1号認定のお子さんは、いわゆる幼稚園に通うお子さんになります。職員も、保育士の資格と幼稚園教諭免許状の両方も持った「保育教諭」という名前と呼ばれます。

定員は、②にありますように、現在のところ園全体で120名を予定しています。内訳は、1号認定が15名、2号認定72名、そして、0歳から2歳

までの3号認定の子どもさんを33名まで受け入れたいと考えています。そして、③にありますように、受入れの対象年齢は、生後10ヶ月のお子さんからです。

④「開園時間と保育時間」は、現在の下米田保育園と同じで、午前7時30分から午後6時30分の11時間です。認定ごとの保育時間は、1号認定の子どもさんが、午前8時30分から午後3時までの6時間30分、2・3号の標準時間認定の方は、午前7時30分から午後6時30分までの11時間、同じく2・3号の短時間認定のおさんは、午前8時30分から午後4時30分までの8時間お預かりします。

⑤の休園日ですが、日曜日、祝祭日、年末年始、その他園が定める日としています。保護者の皆様のお仕事との兼ね合いがありますので、1年分をまとめて、できれば前年度の2月中にはお知らせできるようにしてまいります。

⑥その他について、1つは、土曜保育です。これは、2・3号のお子様を対象となりますが、美濃太田駅北側にあります、私どもたから幼稚園で合同保育を実施予定です。

そしてもう1つ、一般型の「一時預かり事業」も予定しています。保育園などに通っていない乳幼児を対象として、一時的な保育の場を提供してい

きます。

以上が、5ページの「事業概要」となります。

6ページに移ります。1つ目は、「年間の行事」です。

これは、新しい園での保育活動全体と考えていただきたいと思います。基本的に、移行期は現下米田保育園さんの流れを引き継ぐため変わりません。子ども達が戸惑わないよう、困らないよう、保護者の皆様が安心してお子さんを預けていただけるよう、特にきめ細かく保育を進めてまいります。

現在下米田保育園で行われている地域の方々との交流や市内の他の保育園との交流など、いろいろな方とのつながりを意識した年間行事を実施する予定です。すでにお示しいただいている、地域との連携メニュー「レシピ集」を参考にしながら、園が子ども達や保護者の皆様、下米田の住民の皆様の交流の場となればと願っています。

2つ目「引継ぎ」ということで、来年令和7年4月より、私どもたから幼稚園から下米田保育園へ保育教諭を2名派遣します。2名は令和7年度の1年間を下米田保育園の皆さんと一緒に過ごします。そうして子ども達の様子を知り、保育の方法や一つ一つの行事の在り方を勉強します。新しく出発する園で子ども達が笑顔で生活が始められるように、令和8年4月の開園からはこの2名が核となって、引継ぎを丁寧に行ってまいります。どうぞ

ご安心ください。

次は、購入品と徴収金についてです。保育用品については、現在お使いの物をご使用いただきます。消耗品以外は、新たに購入いただく必要はありません。指定服は数年の間には移行していくつもりですが、当面は現在お使いいただいているもの、ごきょうだいのものをご使用いただけます。

その都度の購入品や給食費、保育料についても、現在下米田保育園で納めていただいている金額と変わらない予定です。ただ、物価の高騰等で値上げが生じた場合はその限りではありません。ご容赦ください。

さらに、園舎等を新しくさせていただきますので、冷暖房費やセキュリティーなど施設に関わる経費としての「設備費」を新たに、開園と同時にご家庭毎月1,500円頂戴することになります。どうぞご理解ください。

以上が、6ページの内容です。

7ページをご覧ください。「課外授業の実施」についてお話しします。

現在たから幼稚園では、希望者に対して英会話教室、体操教室、造形教室を、専門の先生に園内で実施していただいています。新園でも子ども達や保護者の皆様からのご要望があれば随時検討し、可能なものから実施していくつもりです。時間としては、1号認定の子どもさんが終わった午後3時以降の時間帯、園内での実施となります。ぜひ、ご活用ください。

さて、新園舎の概要についてお話しさせていただきます。8ページをご覧ください。

ここにありますように、工事期間は、令和7年5月から令和8年1月を予定しています。着工を5月と書いてはいますが、下米田保育園が令和7年5月には運動会を実施する予定をしているということですので、運動会が終わってからの着工をと考えています。新園舎の完成は2月の予定です。

設計は、株式会社SAI+（サイプラス）設計事務所にお願ひし、現在進行中です。工事会社は未定です、来年3月くらいには選定できればと考えています。

旧園舎（現在の園舎とホール）の解体は、令和8年10月頃、園庭の整備はその後の令和8年12月以降になる予定です。

①の「園庭やプール、ホールについて」ですが、工事期間中の、仮囲い案14ページをご覧ください。灰色部分が現園舎、ピンク部分が新園舎で、その間の青色の折れ線が、仮囲いとなります。

工事によって園庭の半分以上が使えなくなります。また、プールは工事区域の中に入ってきますので、プールの使用もできなくなります。本当に申し訳なく思っています。

下米田保育園の先生方と密接に連携を取り、お子さん方の活動にできる

限り支障が出ないように、ホールとこれらの施設に接した部分の工事は後半に行うなど、現園の活動を最優先に工事を進めてまいります。工事期間中は、皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけします。何卒ご了承賜りますようお願いいたします。

10 ページが園舎の外観のイメージ、11 ページが園舎内の様子です。ランチルームの辺りには、絵本のスペース、その隣のプレイルーム、2 階になりますが、ここにもたくさんの絵本を準備し、子ども達が落ち着いて生活できるように、家庭的な温かみのある雰囲気大切にしていきます。

さらに、私達の中心コンセプトが「つながり保育」ということで、年間行事のところで触れました、子どもを核とした地域交流の場として、このエントランスホールを、保護者の方や地域の方が気軽に集っていただける空間・場所として活用していきたいと考えています。

12 ページ、13 ページが、天井をとって上から見た、各部屋の配置です。1 階には、0 歳から 3 歳までの保育室と、ランチルーム、事務室や調理室があります。2 階には、4, 5 歳児の保育室と遊戯室やプレイルームがあります。こんな間取りになっています。あくまでも現時点のものですが、後ほどゆっくりとご覧いただくとありがたいです。

9 ページにこれまでお話しさせていただいた内容を「変わること」「変わ

らないこと」とまとめています。

【変わること】

★運営：美濃加茂市 → 学校法人 則竹学園

★形態：保育園 → 認定こども園

★名称：下米田保育園 → (仮称) 下米田たからこども園

★職員：公立保育士 → 法人保育教諭

★園舎、園庭

★設備費として毎月1,500円いただきます。

★すぐーるアプリ → コドモンアプリ

【変わらないこと】は、

★保育内容

★保育行事

★保育料、給食費

★保育時間

ということになります。

そして、最後に載せさせていただいている「入園について」は、令和8年4月に新たに入園を希望されるご家庭に向けてのものです。令和8年4月に年長になられるお子さんとそれ以下の年齢のお子さんで、令和7年度に下

米田保育園に在園のお子さんは、当然優先的に新園に入園いただきます。どうぞよろしく願います。

三つ子の魂百までと言います。私達は、まさに乳幼児のこの時期に、誰もが健やかに育っていけるための「心の根っこ」が、強く豊かに育って欲しいと願っています。

そのためには、絵本や本物とつながる体験、そして何よりもどの子も心ゆくまで遊ぶ。そんな環境を豊かに整えながら、「失敗を繰り返しても好きなことに夢中になる経験」をいっぱいさせてあげることが必須だと、私達は考えています。

私達の保育・教育方針や保育の様子は、また機会があれば詳しくお話しさせていただきますが、今日はこの写真をご覧ください。私達の保育の現場写真です。(写真を印刷したパネルを掲示。)

これは、読み聞かせ(写真①②)です。当園では、1日に何回も絵本の読み聞かせの場面があります。子ども達が大好きな時間です。そして、毎週どの学年も「絵本屋さんごっこ」(写真③)をします。お家でパパやママに読んでもらうところを思い浮かべながら、真剣なまなざしで、今日借りて帰る絵本を選んでいきます。これは、本物に触れる体験ということで、毎年長児

が体験する「美術館見学」(写真④)の場面です。本物に出会うとともに、公の場を経験する大切な場面です。みんな真剣に絵を見つめます。次は「遊び」(写真⑤)です。この時期は水遊びや泥んこ遊びがみんな大好き、子どもも保育者も全身を使って思う存分遊びます。表情がとても素敵です。

こんな表情ができる子ども、こんな見つめ合いができる職員と子どもの関係を育てる、それは、私たちにとって大きな喜びです。きっとここにこそ、先ほど言った「心の根っこ」が育っているんだと考えています。

そしてさらに、今「園庭づくり」(写真⑥)の最中です。私たち職員や保護者が力を合わせ、知恵を出し合って、子ども達がとことん楽しめる園庭を手作りしています。こんな滑り台もできました。今後下米田保育園の子どもさんたちと当園の子どもたちが交流する中で、私達の手作りの遊び場を体験していただけることも楽しみにしています。

以上、今見ていただいたように、私達の保育は、現在下米田保育園の先生方が進められている保育と重なるところがいっぱいです。そして、美濃加茂市が進めようとされている「里山保育」もたから幼稚園が目指している保育とも大きく重なります。

保護者の皆様には、令和 8 年以降も引き続き、ただ今度は下米田たからこども園となりますが、お子様を安心して預けていただけるものと強く思

っています。どうぞよろしくお願いいたします。

以上で説明を終わらせていただきます。誠にありがとうございました。

次第（5）質疑応答

参加者から質問に対して、応答を行った。

【質疑応答】

<語句の説明>

たから幼稚園	・・・認定こども園たから幼稚園
則竹学園	・・・学校法人則竹学園
下米田保育園	・・・令和7年度まで運営をする公立の保育園
新保育園	・・・令和8年度から運営が始まる私立の保育所

<表記の説明>

回答の後ろにカッコ書きで回答者を記載します。

A（こども未来課）・・・こども未来課が回答

A（則竹学園）・・・学校法人則竹学園が回答

Q 工事期間中の午睡（お昼寝）はどうなりますか。

A（則竹学園）午睡の時間帯は、音の出る作業をしない等の工事の調整を行います。

Q 登降園時の保護者確認はどのようになりますか。

A (則竹学園) 現在、たから幼稚園でも使用している、「コドモンアプリ」を使用する予定です。QR コードを読み取り機にかざすと、保護者の確認と時刻確認が行われます。

Q 祖父母がお迎えに行く場合も、QR コードが必要になりますか。操作が心配です。

A (則竹学園) 原則、お迎えに来る可能性がある方は、アプリに登録して QR コードを使用するようにしていただきたいです。操作など不安な場合は、QR コード印刷して持ち運べるようにすることも可能ですので、個別に対応させていただきます。

Q 令和 8 年 4 月以降のおやつは、どのようになりますか。

A (則竹学園) 園内調理室にて、手作りおやつも提供する予定です。現時点では、週 3 日は手作りおやつ、週 2 日は市販のおやつを想定しています。

Q 土曜保育は、たから幼稚園で拠点保育を行うとありますが、新保育園に在園しながら、土曜日は、公立のあじさい保育園を利用することは可能ですか。

A (則竹学園) たから幼稚園での土曜保育となります。

Q 令和7年度から令和8年度になり、公立から私立に変わる際に、手続き等は増えますか。また受入人数も増えますか。

A (こども未来課) 令和7年度に下米田保育園に在園し、令和8年度に新保育園に通う方の手続きは、現在検討中です。令和7年10月までに該当の方にお知らせをいたします。

A (則竹学園) 運営が公立から学校法人に変わるため、学校法人で入園時に必要とする書類を新たにご提出いただく予定です。また、受入人数も増える予定です。

Q 令和8年4月からは、制服で登降園しますか。体操服は変わりますか。リュックは指定がありますか。

A (則竹学園) 制服で登降園はしません。現在、下米田保育園で登降園しているような服装で構いません。制服に関しては、たから幼稚園では、令和7年度からセーラースモックに変更する予定です。新保育園もセーラースモックを制服にする予定です。

体操服も現在使用しているものをそのまま使用していただいて構いません。

たから幼稚園では、毎年クラスTシャツを作成して、それを体操服としていますが、新保育園でクラスTシャツを作成するかどうかは検討中です。

リュックについては、たから幼稚園では指定のものがありますが、新保育園で指定のものとするかは検討中です。

Q 保護者会の役員の選定方法は決まっていますか。

A (則竹学園) 新保育園での決め方は未定です。たから幼稚園では、毎年保護者アンケートを行い、投票して役員を決めています。

Q 工事する時間帯は決まっていますか。通学路や職員の駐車場、保護者の送迎方法はどのようになりますか。下米田保育園での送迎時と通勤が重なり、通行に困っています。工事車両の通行等は地元住民の生活に配慮してもらいたいです。

A (則竹学園) 工事の詳細は、工事事業者が決まらなると明確にならないため、現時点ではお答えはできません。令和7年3月に工事事業者が決まる予定ですので、詳細が決まり次第改めてお知らせいたします。また、工事車両の通行について、通学路や地域住民の皆様の生活道路に重なる部分がありますので、朝夕の時間帯を考慮した工事車両の出入りとなるよう調整を行っていきます。土日の工事についても原則行わないように余裕をもった工期を設定しています。

A (こども未来課) 職員の駐車場は東端の駐車場、保護者の送迎は JA めぐみの下米田営業所を含めた周辺地域で調整をしたいと考えています。

Q 新保育園の駐車場はアスファルト舗装となりますか。

A (則竹学園) アスファルト舗装を予定します。

Q 入園を希望する下米田地区の子どもが、新保育園に入れるようにしてほしいと思いますがいかがでしょうか。

A (こども未来課) 令和7年度から、園児の受入れが拡大できるよう調整を図っていきたいと考えています。

Q 現時点では、59名在園となっており、令和8年度から定員が120名になりますが、過大ではないでしょうか。

A (こども未来課) 令和7年度に職員配置を手厚くして園児の受入れを拡大できるように尽力をいたします。また、市内保育施設の定員は、5年ごとに見直しをして市全体で受け入れ枠を調整しています。本年(令和6年度)が子ども・子育て支援事業計画の策定の年であるため、新保育園の運営も円滑になるように、調整を図りたいと思います。

Q 改めて伺いますが、下米田保育園が民営化するとなった理由は何でしょうか。

A (こども未来課) 市内公立保育園の老朽化に対応するため、平成 29 年度に公立保育園の整備の基本的な基準や統廃合による園舎建替えあるいは、民間活力の導入などの計画を定めました「美濃加茂市公立保育園施設整備計画」に従い、下米田保育園の民営化を進めています。

Q 建て替えをする際の国からの補助はどのくらいありますか。

A (こども未来課) 園舎建設に係る補助金の割合は、国 2/3、市 1/12、事業者 1/4 です。例えば、園舎建設の費用が 5 億円であるとする、負担率はそれぞれ、国が約 3 億 3 千 5 百万円、市が約 4 千万円、事業者が約 1 億 2 千 5 百万円という試算となります。

Q 新下米田保育園の名称は最終的には誰が決定しますか。

A (こども未来課) 学校法人則竹学園が、最終的に決定を行いますが、決定にあたり市からも具申します。

Q こども園と地域との連携メニュー「レシピ集」を参考に取り入れるとありますが、逆に、たから幼稚園の良さが無くなってしまわないでしょうか。

A (則竹学園) 無くなるとは考えていません。学校法人則竹学園の保育理念と、下米田地区の良さを調和させながら園を運営していきたいと考えています。

Q 1号認定があるということは、市外からの受入れを行うということですか。

A (則竹学園) 制度上可能にはなりますが、下米田地区の希望する方を受入れてきけるように調整をしております。

Q 下米田地区の0歳児はどれくらいいますか。

A (こども未来課) 2020年51人、2021年34人、2022年31人、2023年27人、2024年41人(各年4月1日時点)となっています。

Q 上記の質問に関連し、全国的に子どもの数は減っていくと思います。10年後に入園児が減っていくという見込みにはならないでしょうか。また、園児数に見合った職員は配置されるのでしょうか。

A (則竹学園) 現在、下米田地区から可見市の園に通っている方が一定数います。そういった方に、新保育園にぜひ入園してもらえるように努めていきたいと考えています。職員についても早期に確保に取り組み、開園時には適正な配置ができるようにしていきます。

A（こども未来課）市内保育所等の定員数等を定める子ども・子育て支援事業計画について5年ごとに見直しを行います。社会情勢や地域の実情を踏まえながら適切な定員を設定するとともに新保育園の運営が円滑になるように協力をしていきます。

Q 下米田地区の児童は優先的に入園できますか。

A（こども未来課）保育の必要性を指数化して決定することになりますが、希望される方の受入れができるように調整をまいります。

Q 市内の民営化の動きはどうなっていますか。

A（こども未来課）現時点、古井第一保育園、古井第二保育園、蜂屋保育園を廃止し、公立のあじさい保育園、私立の蜂友学舎保育園の整備をし、加茂野保育園は、指定管理者制度を導入し、今後民営化する予定をしています。

その他の公立園については、5年毎に見直しをする子ども・子育て支援事業計画に定める保育の必要量等を鑑みて、今後検討していきます。

その他ご意見

・新保育園の運営が、市内でも実績のある地元の法人であり良かった。

- ・工事事業者は、市内の信頼のあるところにしてほしい。
- ・自治会回覧文書の中に、こども未来課の住所の記載がなく分からなかった。
- ・保育園西側の市道今 103 号線について、以前から緊急車両が入りやすいように整備を要望していた。歩道橋のフェンスがあるが、下げて道路を広くしてほしい。

→土木課に伝えます。

- ・市で計画を立てて、統廃合を進めているとのことだが、今まで公立だった保育園が私立になるとさみしく思う部分もある。公立の運営継続も引き続き模索してほしい。
- ・保育園を民営化することで、市の財政負担が軽減されることは理解する面もあるが、その他の公共事業に波及しないか心配に思う。
- ・保育園を民営化すると、市として保育のノウハウが無くなってしまい、子どもの様子を市が把握できなくなってしまうか心配に思う。長いスパンで子どもを育ててほしいと思う。